

スタディーサポートの結果が返ってきたら

Classiの学習トレーニングをフル活用！

Classi「学習トレーニング」では、自分の目標と結果のギャップから学習可能。伸びしろを見つけて、自分が納得するまで問題演習に取り組もう。

Step1

初めて「自主学习」を使う場合は、目標設定

1. Classiトップで[学習トレーニング]をタップ  
2. [目標GTZ設定]をタップ
3. 英語・数学・国語の目標を設定し、[学習トレーニングへ戻る]
 - 目標設定で悩んだときは、直近受験したスタディーサポートの結果を確認。そのGTZの1つ上のレベルを設定してみよう！

GTZって何？

「GTZ」とは「学習到達ゾーン」の略です。SからDまで大きく5段階あり、上のレベルにいくほど進路の選択肢が増えていきます。

- S … 難関大合格レベル
- A … 国公立・中堅私立大合格レベル
- B … 国公立・中堅私立大挑戦レベル
- C … 4年制大挑戦レベル
- D … 基礎・基本要請レベル

Step2

自主学习-ベネッセテストで、単元ごとの結果を確認

1. 学習トレーニングトップで[自主学习-ベネッセテスト]をタップ
2. プルダウンで直近受験した「スタディーサポート1回」を選択
3. 単元ごとの結果を確認し、どこから学習するかを決める



※単元ごとの結果が表示されるのは、実際に出題された単元です。

Step3

あとはひたすら、トレーニング！

目標とのギャップの大きい単元を選んで、問題演習。その単元のトレーニング対象の問題に取り組み終わったら「トレーニング完了」スタンプがつくよ！





学習トレーニングをフル活用する際のポイント

「伸びしろ」を伸ばして、学力UPを目指すなら

ただこなすは× 1問1問しっかり確認！

せつかく取り組むなら、「こなす」のではなく「できるようにする」を目指そう。

問題を解いていてわからないと思ったら、一度しっかり解説を読んでみよう。

それでもわからないときは、教科書に戻ったり、先生に質問してみたり。「わかる」ために動くのが大切。

スキマで、机に向かって落ちていて、時間の使い方を工夫してみよう

スマホ片手に取り組みやすい英語や国語の文法問題は通学時間やちょっとしたスキマ時間に。

ノートを開いてじっくり取り組みたい数学の問題や大きな画面の方が解きやすい読解問題は、

少し落ち着いて取り組める時間に。取り組み方や、時間の使い方を工夫してみよう。



上級編！あわせて”Classiも”フル活用するなら

「ポートフォリオ」に 振り返りと目標を書いてみよう

テストの結果を見て振り返ったことや、その後の学習に向けての決意表明・目標をポートフォリオに記録。簡単にでも文字にして残すと、自分の考えが整理され、学習の見通しをたてるきっかけにできるよ。

①ポートフォリオを選択



②[活動記録の新規作成]を選択

③記入して、保存する

※右の画面のように、テンプレートを選択して、その項目に沿って入力することも可能です。

「学習記録」のストップウォッチで 学習時間・内容を記録 ※Classiホームアプリのみ対応

勉強時間を測りたい場合、アプリからなら「学習記録」のストップウォッチが便利。最初にストップウォッチを起動してから、学習トレーニングに取り組んで、終わったら計測を止めて記録。試してみてね。

Classiホームアプリで学習記録を選択

その後、以下のようにストップウォッチを選んで計測！

